

留学報告書 II (留学生)

塾内在籍高校・学年(派遣時)	慶應義塾高等学校 2年
留学先高校名	Winchester College
留学期間	2015年 9月から 2016年 7月まで

<入力は日本語/英語のどちらでも構いません>

1年を振り返って

どのようなことを期待して渡航しましたか？

- ・ レベルの高い生徒たちと一緒に英語で勉強すること。
- ・ 天然芝のピッチでサッカーをすること、グラスコートでテニスをすること。
- ・ 音楽に力を入れていると聞いていたので、ジャズ、クラシックなど様々な音楽に触れること
- ・ Boarding School ならではの文化や生活を味わうこと

留学を振り返って

周りの生徒のレベルはやはり高かったと思います。特に、活字を読み、理解し、自分で考えてエッセイなどの形で表現する力とそのスピードに圧倒されました。最初はついていだけで大変でしたが、この一年間で Reading や Writing の面でレベルアップできました。

期待通り、ジャズもクラシックも思う存分できました。日本では正しい音符、音程、音量、完璧な和音などを主に訓練していましたが、Winchester で自分の音楽の表現の仕方、物理的な音楽ではなく、芸術的に音楽を演奏することを学びました。

僕の寮は全員暖かく、面白くてとても心地いい寮でした。四六時中ずっといるので、一生の友達ができると思います。寮ごとに生徒の違ったカラーが出ているのも面白かったです。

課外活動は何をしていましたか？

一年間通して活動していたものは音楽でした。毎週月曜日に Winchester College Symphony Orchestra の練習、火曜日にサクスのレッスンと Classical Sax Quartet の練習、水曜日は Community Service の一環として Big Band Jazz、木曜日は Jazz Sax quintet をしていました。それに加え、週5日、スポーツをしていました。一学期目はサッカーで学校の 4th XI のチームの練習、週末には対外試合があり、イートン校をはじめとした他の Boarding School と対戦しました。毎週金曜日には寮対抗のサッカーの試合にも出ていました。二学期では、週3回 Winchester College Football という Winchester College にしかないスポーツをしていました。これも基本的には寮対抗で、最後の試合で Man Of The Match にも選ばれました。最後の学期では、テニスを水曜日と日曜日以外ほぼ毎日やっていました。2nd VI に選ばれ、ここでもイートン校などの Boarding School と対戦しました。音楽とスポーツの両立は大変でしたが、毎日が充実していてとても楽しかったです。

学校の施設はいかがでしたか？ (日本の在籍高校にはない教室・施設があれば教えてください)

何面もの天然芝のサッカー場や天然芝のテニスコートは圧巻でした。広々としたグラウンドやコートでプレイできたのはとても貴重な経験となりました。また、個人練習用の音楽室が多々あり、いつでも自由に使うことができたので助かりました。

短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？

短期休暇は、Winchester や Bogner Regis という場所にホームステイをしていました。ホームステイ先の家族に Portsmouth, Brighton, Bath などに連れて行ってもらいました。11月の2週間ほどの休みでは寮の同級生と一緒にロンドンで過ごしました。2月の10日間の休みには、4時間ほど電車で揺られ York という街に行きました。その際近かったので Manchester や Liverpool も観光できました。12月のクリスマス休暇では日本に一時帰国してリフレッシュしました。3月の長期休暇では姉が留学しているカナダで過ごしました。

授業について

授業の進め方・内容・レベルについて、日本の在籍高校との違いを教えてください。

基本3科目を選択しますが、中には4科目、5科目を履修している生徒までいました。それに加え、Winchester College では独特の Division (Div) という教科が必修になっています。Div は とてもユニークな教科で、シラバスもなければ試験もありません。Div は政治から芸術まで幅広い分野を勉強し、意見を語り合って理解を深める教科です。基本的な理念は Discussion を行う場所であり、Debate のように勝ち負けをつけるのではなく答えのない問題にみんなで取り組んで理解を深めるというものでした。本を読んだりニュースを読んだり自分でリサーチしてプレゼンテーションをするなど、ただ与えられた課題を解くだけでなく自ら新しいことを研究していく、そしてそれを発表するスキルが身についたと感じます。Div では担当の先生によってやる事が全く違うので生徒の Div の解釈の仕方も様々でした。ある生徒は自分の意見を述べる場所、ある生徒は人間としての基礎的な知識を身につける場所、本を読む場所、聴く力を養う場所、など様々でした。僕の担当の先生はロシアに興味があるということで物理の先生でしたが主にロシアについて学ぶことになりました。僕自身ロシアには詳しくなく、興味もあまりありませんでしたが一年をかけロシアの歴史、政治、生活、美術、音楽、文化、言語など全ての方向からロシアを勉強することで今までのイメージとは全く違ったロシアが見えてきました。その他にもロシアの勉強をしながらイギリスの詩の鑑賞、シェイクスピア、ロンドンに中国のアーティストの個展に行く、EU 離脱に関する Discussion、音楽の物理学的方面からの研究、など幅広く勉強しました。最初の頃は勉強するトピックがころころ変わる Div を理解しきれず、Discussion についていくのも大変でしたが、いろいろなものに触れていくにつれ徐々に自分の意見を持ちそれをクラスで表現することができるようになっていきました。この授業では一つの分野にとらわれることなく柔軟に幅広いトピックを勉強することで Winchester College の目指す Well-rounded な生徒を作る根幹となっていると感じました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

Winchester での時間は、日本にいる時に比べて格段に速く過ぎ去ります。1年はあっという間、1年しかいられないと思いながら毎日自分のできる最大限の努力をすることをお勧めします。Winchester には free time が沢山あり、スポーツも音楽も勉強も自分の好きなだけできます。世界から集まった優秀な友人と寝食を共にし、彼らと切磋琢磨しながら勉強や課外活動に毎日とても忙しい日々を過ごす時間はこの一生の中でこの一年間だけだと思います。欲張りにやりたいことを全て詰め込んで忙しい、それでも充実した一年を送ることをお勧めします。

以上